

「伊崎田学園の伊崎田和紙の伝承活動の取組」

1 学校名

伊崎田学園 志布志市立伊崎田小学校，志布志市立伊崎田中学校

2 学年・人数

小学6年生17人・中学生39人（計56人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年12月15日（金）総合的な学習の時間「紙漉体験活動」

小学6年生及び中学3年生（伊崎田学園 郷土資料室）

令和6年1月13日（土）総合的な学習の時間「かじの木採取」

中学1・2年生（伊崎田小プール裏，学校前かじの木園）

令和6年1月19日（金）総合的な学習の時間「かじの木採取」

小学6年生（伊崎田小プール裏，学校前かじの木園）

(2) 発表の日時・場所

令和6年3月12日（火）志布志市立伊崎田中学校卒業式

令和6年3月22日（金）志布志市立伊崎田小学校卒業式

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について

(1) 名称

伊崎田和紙（いさきだわし）

(2) 由来

明治の中頃，吹上・加世田からの移住の人々により伝えられた。昭和40年代に衰退したが，昭和63年に復活した。

(3) 構成等

小学6年生と中学生が総合的な学習の時間の中で，次の活動に取り組んでいる。

- ・和紙作りについて調べ，まとめたり，発表したりする。
- ・紙漉体験活動を行う。
- ・かじの木採取を行う。

5 保存会や地域との連携の具体

- ・保存会との打合せ
- ・紙漉体験活動での伊崎田和紙保存会へ講師招へい
- ・かじの木採取での伊崎田和紙保存会へ講師招へい

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方に指導していただき，小学6年生と中学生が体験活動を通して，郷土学習として本校の伝統的な行事について学ぶ機会とした。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等の写真）



（紙漉体験活動の様子）

（かじの木採取の様子）



（卒業式の様子）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想

【児童生徒】

- ・ 和紙作りは実際にしてみると、見ていたよりもとても難しかった。細かい作業がたくさんあり、時間がかかる。
- ・ 和紙漉きでは、緊張して腕が伸びてしまったが、自分で作った和紙の卒業証書が額に入れて渡される日が楽しみ。

【保護者】

- ・ 伊崎田和紙を今後も残していくために、保護者や地域ができることに今後も取り組んでいきたい。
- ・ 伝統ある伊崎田和紙に誇りを感じている。小中学校でこの伝統を守り続けてほしい。

【保存会から】

子どもたちは呑み込みが早くて上手である。最近では和紙作りの担い手がないので、興味をもってもらい、伝統の技をつないでいきたい。

【教職員】

- ・ 伊崎田和紙伝承活動は貴重な体験活動だと思う。長く続けていくためにも地域や保護者も一緒に取り組む形を検討していきたい。
- ・ 校内に紙漉き体験ができる場所があることは素晴らしい。カリキュラムを工夫し、これからの活動を更に充実させていきたい。